

玉野高校は「宇宙旅行体験。ができる講演会を11日午後2時～3時半、校内で開く。国立天文台(東京都三鷹市)が開発した天文シミュレーションソフト・M i t a k aを使用。「講演を契機に、若者が科学へ興味を持ってくれればうれしい」としている。(正本和臣)

玉野高 11日、小中高生ら対象に講演会



玉野高校が11日に開く講演会をPRするちらし

Mitakaは国立天文台が観測で集めたデータに基づき、天体の位置を立体的に表現できるフリーソフト。映像を会場に投影し、地球を起点に銀河系を周回したり、約250万光年離れたアンドロメダ銀河を通

宇宙旅行しませんか

14年度から生徒や教職員に科学プレゼンテーション技法を指導している中部大(愛知県春日井市)

中部大 天体映像を投影 教授招く

中学生をメインに、小学校高学年から高校生までが対象。一般の聴講も受け付ける。前日の10日までに市立図書館・中央公民館、各市民センターなどにある申込書に必要事項を記入し、玉野高校にファクス(043323)で提出する。電話(04321)での申し込みも可。参加無料。講演会は地域に開かれた教育を目指し、玉野高校が中部大の協力を得て企画した。

の井上徳之教授。日本人で初めてスペースシャトルに搭乗した毛利衛さんらと親交がある。講演では日本人宇宙飛行士が宇宙船内などで過ごした際のエピソードなどを紹介する。



宇宙への興味をかき立てる11日の講演会。実現へと導いたのは、宇宙飛行士を夢見る一人の男子中学生と、その思いをぐんぐんだ担任教諭の熱意だった。日比中学校1年の三宅康太さん(12)は、2009年に日本人として初めて宇宙に長

「飛行士になりたい」日比中教諭 夢後押し

担任の福本安佐子教諭(26)は、入学時の自己紹介で三宅さんの思いを知ることになった。教諭の夢を何とか手助けできないか。母親で玉野高校長の福本まゆみさん(57)に相談したところ、高校が外部講師として招いている井上徳之教授が、毛利衛さんが館長を務める日本科学未来館(東京都江東区)に勤務した経験があることから、講演会への協力を依頼した。開催を知らされた三宅さんは、迷うことなく参加を希望。当日は「毛利さんたちが宇宙飛行士になるため、どんな勉強をしたのか聞いてみたい」と目を輝かせる。福本教諭も「中学生で将来の目標を明確に持っているのは素晴らしいこと。講演を聞いて、夢への第一歩を踏み出してほしい」と話している。(正本和臣)

講演会を心待ちにする三宅さんと福本教諭